

令和6年度 公益社団法人
北海道社会福祉士会 十勝地区支部
基本方針 及び 事業計画 (案)



I. 基本方針

「地区支部のつながりと平時からの実践力の強化」

1. はじめに 「ソーシャルワークの役割」

福祉ニーズの多様化に伴い、社会福祉士の活躍の場は高齢者支援、障がい児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援のみならず、教育や司法等様々な分野に広がってきている。

特に近年では、いつどこで起こるか分からない大規模自然災害時への支援について平時からの取り組みが求められる。災害により脆弱した側面が表面化されていく事から、平時からの地域コミュニティの育成や公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みづくりの構築を目指していく。

ケアラー支援の問題等、当事者だけでなく多様化・複雑化する地域課題に対応できる能力をさらに開発・活用していくため、具体的な役割の明確化や実践力の強化等のための方策の検討が必要とされています。

2. 十勝地区支部をめぐる動向

180名を超える会員の「つながり」と共に、他団体との協働を図る上でも「見える化」を実現していき平時からのつながりを強化していく。また社会福祉士としての専門性を高められるような研修会や学習会の開催を継続し、参加する会員を増やす環境作りとして「オンライン」での開催と共に、「集合」によるメリットとしての「つながり」により互いの悩みや思いを共有できる場を展開・創意工夫していきながら、会員としてのメリットを感じ、会員のつながりを強めるべくソーシャルワーク café を継続します。社会福祉士としての倫理を大切にしながら会員相互に力を合わせ、社会から期待される役割を意識し、これまでの活動を踏まえて発展させていく1年としていく必要があると考えます。

<p>1. 会員・参加会員の拡大と未来の会員支援の拡充</p>	<p>受験生・実習生段階からの支援を通じて会を身近に感じていただき、結果入会する会員を拡大するとともに、会の活動（役員・協力員・研修会等）に参加する既存の会員を増やすことで、地区支部の組織基盤を強化していきます</p>
<p>2. 顔の見える関係作りの促進と参加しやすい活動形態の追求</p>	<p>180名を超える会員数になり、顔の見えにくい関係になってきています。広域でも参加しやすいオンラインの活用や広報ツール等を用いて多くの会員の顔が見える活動を進めます。また、つながりを強める活動としてZOOMを活用したSWCafeを引き続き行い、そこで出た意見を具体化する事にも取り組みます</p>
<p>3. 地域・社会の要請に即した活動</p>	<p>継続している各自治体の各種審議会・委員会等への会員派遣や専門職能団体との連携、高等看護学校地域福祉講座講師など、今取り組むべき社会的・地域的課題解決や地域からの要請にこたえるべく、他団体との協働やソーシャルアクションなども視野に取り組みを進めます。</p>
<p>4. 会員の資質向上に資する研修の開催と研修実施体制の構築</p>	<p>会員の資質向上のため、権利擁護セミナー、社会福祉セミナー、定例学習会等を開催します。また日本社会福祉士会が行っているオンデマンドによる学習体制を推奨していきます。同時に社会福祉士としての倫理、価値を考える研修を継続的に行います。</p>

II 組織・運営体制

1 役員体制

昨年度同様の体制および役割を継続します

	メンバー	役割
支部長	渡辺洋一郎	事業骨格の立案・事業進捗状況の総括・地区支部の対外的な窓口・三役会議招集等
事務局	事務局長 東村智之	道事務局との連絡調整・役員会の議案整理・地区支部役員と会員間の連絡調整・行政関連団体との連絡調整等
会計	田巻憲史	地区支部の事業推進にかかる出納管理・予算執行状況の把握・事業推進のための予算執行調整提案 等
三役会	支部長（渡辺）・副支部長（庄司・鳥瀬・廣瀬）・事務局長（東村） ※適宜、会計・道の委員会委員を招集	担当委員会の状況把握と報告相談・各部会間の連携・役員会の議案検討 等
役員会	三役・会計・部会長・幹事・監事・ <u>道委員（地区支部推薦）</u> 渡辺、庄司、鳥瀬、廣瀬、東村、田巻、倉橋、金石、柴田、山口、椎名、國安、石川、宮崎、藤森、清野（光）、小野、川向、石橋	道理事会、各委員会の活動内容の共有、道会への意見要望の集約、地区支部の事業の進捗状況の共有・その他事業推進に関する意思決定 等

2 委員会・部会体制

昨年度の委員会および部会体制を継続。

委員会	部会	設置目的
生涯研修委員会 (庄司 副支部長)	基礎研修部会 (倉橋 部会長)	基礎研修 I ～ III の運営 * 地区支部内集合研修の企画運営等
	セミナー学習会部会 (椎名 部会長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例学習会 (2 回) の企画運営 ・ 社会福祉セミナーの企画運営 ・ 道東の集いの企画運営 → 今年度は全道交流集會に置き換えて実施 (オホーツク) ・ PMC ラボの企画運営 (十勝地区の精神保健福祉士会・医療 SW・当会)
権利擁護委員会 (鳥瀬 副支部長)	成年後見部会 (柴田 部会長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見受任者のフォローアップ ・ 「権利擁護セミナー」の企画運営 ・ 会員の権利擁護意識の向上、関係職種との連携の推進等
	司法連携部会 (山口 部会長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「司法と福祉の研修会」の企画運営 ・ 司法と福祉の連携の推進 ・ 福祉的支援が必要は方への入口・出口支援のできる環境調整等
ソーシャルアクション・見える化委員会 (四役で対応)	ソーシャルアクション・見える化委員会 (廣瀬 委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区支部活動の PR・周知促進、併せて活動報告も SNS の積極的活用。 ・ 他職能団体や当事者団体等との連携・共同の推進。 ・ 未来の会員に対する支援、及びそこに関わる社会福祉士に対する支援 (受験生・実習生)。 ・ 帯広市高等看護学校地域福祉講座への対応準備 ・ 各種相談会への対応と居場所づくり

3 支部交流事業

会員相互のつながりを強め、地域における社会福祉士や福祉に関する動向を把握し、情報を集約・発信する取り組みを進めます。SW café の開催をとおして顔の見える関係を構築し、地域の福祉課題とともに考え、社会貢献見える会員委員会につなげる活動を通し、より多くの会員の運営への参加を促進します。

4 意見交換会・全体会

地区支部の事業計画・報告を会員に報告、意見交換をする機会として、以下の会を開催します

意見交換会	12月	地区支部全体会	5月
-------	-----	---------	----

5 成年後見人合議体の運営

地区支部窓口	権利擁護委員会 担当 石川会員
運営委員	柴田会員、國安会員、鳥瀬会員

6 北海道社会福祉士会 役員・委員等

北海道社会福祉士会理事	渡辺会員、庄司会員
ぱあとなあ北海道運営委員会	宮崎会員
生涯研修委員会	倉橋会員、数田会員
地域包括支援センター支援委員会	國安会員
企画総務委員会	椎名会員
生活困難者委員会	清野会員
災害対策委員会	庄司会員、小野会員
子ども未来部会	石橋会員
司法分野との連携特別委員会	山口芳会員
実習指導者研修委員会	廣瀬会員
障がい者等地域生活支援委員会	藤森会員

虐待対応専門職チーム運営委員会	川向会員
*基礎研修講師養成研修修了者	ソーシャルワーク理論 鹿内会員 地域開発・政策 清野光会員・岡本会員 権利擁護・法学 石川会員・清野祥会員 サービス管理・経営 杉野会員 実践評価・研究 堀田会員
*スーパーバイザー登録者	清野光会員・清野祥会員・高畑会員・杉野会員・田巻会員

Ⅲ 2024年度 事業実施計画（案）

1. 三役担当任務・担当事業

- ① 担当委員会の状況把握と意思決定に関する調整
- ② 各委員会・部会間の連携調整に関すること
- ③ 担当委員会の予算執行状況の把握・調整
- ④ 他地区支部、他SW団体との連携

2. 委員会実施計画

生涯研修委員会	基礎研修部会	① 基礎研修（Ⅰ～Ⅲ）の運営（5月～1月） ・ 地区支部内集合研修の企画運営 ② 基礎Ⅰ連動企画研修の企画運営（11月頃）
	セミナー・学習部会	① 定例学習会の企画運営（3月頃） ② 社会福祉セミナーの企画運営（11月頃） ③ 道東の集い道東三地区（釧根・オホーツク・十勝）の企画運営（12月頃） ④ PMCラボの企画運営（10月頃）
権利擁護委員会	成年後見部会	① 権利擁護セミナーの企画運営（10月頃） ② 成年後見人フォローアップ研修（年5回） ③ アンケート調査の結果に基づいた活動運営 ④ ぱあとなあ北海道との連絡調整 ⑤ 成年後見にかかわる専門職との連携 等
	司法連携部会	① 司法と福祉の研修会の企画運営（2月頃） ② 入口支援の啓発、広報 ③ 弁護士との事例検討・意見交換会の開催 ※両部会でマイノリティ支援に関すること
ソーシャルアクション・見える化委員会		① ニュース作成（年3回） ② ホームページ・フェイスブック管理、情報発信 ③ 当事者・専門職団体等との連携に関すること ④ 受験生支援に関すること ⑤ 実習生及び実習指導者支援に関すること ⑥ 高等看護学校地域福祉講座に関すること ⑦ ソーシャルワーカー出前講座（学校） ⑧ 福祉フェス、10土業相談会等相談会に関すること

	⑨ 当事者、関係団体等との連携、協働の推進 ⑩ その他社会貢献に関する事業のこと
--	---

3 十勝地区支部 交流事業

① SNS の積極的な活用	支部フェイスブック・LINE 等の SNS を活用し、会員向けにとどまらず、広く一般に向けて情報発信を行う
② 通信への「会員紹介」記事の調整	各ブロックで是非紹介したい実践をしている会員、面白い特技を持っている会員…等紹介する
③ swcafe の開催	役員、各委員会などと協力し、つながりを強めながら、出たアディアの実現を目指し、活動を強化します。

4 専門性を生かした地域貢献事業 実施計画

管内関係機関への委員等派遣	帯広市社会福祉協議会評議員・帯広市介護認定審査会・障害支援区分認定審査委員会（帯広市・南十勝）・帯広市健康生活支援審議会・道東知的障がい福祉協会オンブズマン・芽室町成年後見支援センター専門部会・陸別町成年後見実施機関運営協議会・りくべつ生活安心センター受任等調整会議等
10士業合同生活よろず相談会	弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・FP 協会・税理士等専門士業と一緒に、1日無料相談会を実施
福祉フェスティバル相談会	社会福祉士会で2日間相談ブースを設置し、住民の相談にあたる